

第六十四回
帝國議會
貴族院

恩給法中改正法律案特別委員會議事速記録第三號

昭和八年三月十五日(水曜日)午前十時十分分開會

○委員長(伯爵藩口直亮君) ソレデハ是ヨリ開會イタシマス

○公爵一條實孝君 丁度陸軍ノ政府委員デスカ、恩賞課長ガ御出デニナッテ居リマ斯拉私ハ陸軍ニ關スルコトヲ少シ伺、テ見タイト思フノデアリマス、實ハ數日前ニ私ノ宅ニ屯田兵デアリシ本人ガ參リマシテ、非常ニ自分達ノ惱ミヲ懇ヘタノデアリマス、之ニ對スル中井陸軍恩賞課長ノ御答ハ衆議院ノ速記録デチョット見タノデアリマスケレドモ、此恩給法トドウ云フ關係ニナッテ居リマスカ、屯田兵ノ問題ハ恩給法ニ無關係デアアルナラバ徒ラニ時間ヲ費シテモ申譯ナイコトデアリマスケレドモ、若シ關係ガアルモノナラバ一應屯田兵ニ對スル陸軍ノ御考ヲ率直ニ伺、テ見タイ

○説明員(中井良太郎君) 只今一條公爵ノ御尋デアリマシテ、御答ヲ申上ゲマス、屯田兵ノ今日請願ニナッテ居リマス問題ノ中デ色ミゴザイマスガ、其中ノ一ツノ請願事項ト致シテ屯田兵ノ豫備役期間ヲ恩給年限ニ通算シテ呉レロ、斯ウ云フ一ツノ請願ガ

第四部第一八類 恩給法中改正法律案特別委員會議事速記録第三號 昭和八年三月十五日

ゴザイマス、又モウ一ツハ現役兵服務期間ニ對シテ一時恩給支給シテ呉レロト云フ所ノ請願ガゴザイマシテ、此ノ二ツノ請願ハ表面カラ申シマスレバ恩給法ト關係ガアル請願デアリマス、其外ニ前戸主ノ服役期間ヲ恩給年限ニ通算スルトカ、或ハ大正十二年ノ現行法施行ニ伴、テ同年以前ノ期間ニ對シテ恩給ヲ遡及支給シテ呉レロト云フコトカゴザイマスガ、何レモ恩給ニ關係ガアルコトデゴザイマスガ、只今根強ク主張イタシマスル點、殊ニ其中デモ屯田兵ノ豫備役期間ヲ恩給年限ニ通算シテ呉レト云フ只今根強イ調願ガアルノデアリマス、是等ノ請願ニ付キマシテハ昭和四年カラ五年ニ掛ケテ陸軍大臣ヲ會長ト致シテ設置セラレマシタ兵役義務者及廢兵待遇審議會ニ於テ慎重審議サレマシタ結果恩給法トシテ之ヲ織込ムコトハ適當デナイ、併シ現在ノ狀態ニハ同情スベキモノガアルカラシテ、一時慰藉金的ノモノヲ支給シテ之ヲ以テ屯田兵ノ問題ノ絕對最後ノ解決トシヤウ、斯ウ云フコトニ答申サレテ居ルノデアリマス、從テ私共事務ニ當リマス者ト致シマシテハ、此審議會ノ答申ヲ唯一ノ「シムボル」トシテ今日

マデ進ンデ居ルノデアリマスルガ、又色ミ財源關係或ハ其他ノ豫算ノ緩急順序ニ依リマシテ、未ダ一時慰藉金ノ問題ガ解決セラレテ居ラヌ狀態デアアルノデアリマス、將來モ恩給法ノ改正ニハ此審議會ノ答申ヲ基礎ニ進ミタイト思、テ居リマス

○公爵一條實孝君 サウシマスト、審議會デ御決定ニナッタコトモマダ陸軍デ實行ハサレテ居ラヌ、今回ノ恩給法ニハ無論其問題ハ織込マレテ居ラヌ、斯ウ云フコトデゴザイマスカ

○説明員(中井良太郎君) 審議會ノ答申ハ出來テ居ルモノモ少ナクゴザイマセヌガ、屯田兵ノコトニハマダ及ンデ居リマセヌ

○公爵一條實孝君 私ノ伺フノハ屯田兵ノ陳情ニ對シテ審議會ノ方デ御決定ガアッタ事項ガマダ御實行ニナッテ居ラヌ、ソレカラ尙ホ此恩給法ノ中ニハソレハ織込マレテ居ラヌ、斯ウ承知シテ宜イノデアリマスカ

陸軍ニ於テハ夙ニ調査ヲ致シテ居リマスノデ、恐ラク其方針ニ從來カラ差異ハナカラウト考ヘテ居ルノデアリマス、茲ニ速記録ニ依リマシテ、衆議院恩給ニ於テ中井歩兵大佐ノ述ベタ所、又極員政府委員ノ述ベタ所ヲズット讀ンデ見マシテ、ソレハ豫備役ヲ現役ト同ジ扱ヒラシテ恩給ヲヤルト云フコトハ出來ナイ、豫備役ハ現役トハ全然違、タモノデアアル、少シ似寄、タコトモアルケレドモ、豫備役ト現役ト之ヲ同様ニ取扱フト云フコトハ不適當デアアル、法規上サウナッテ居ラナイ、過去ニ於テ色ミナ人が證明シテ居ルカ知ラヌケレドモ、ソレハモウ死ンダ人デ亡クナッテ證據モ無イノダ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ私ノ手ニ入リマシタ茲ニ一ツノ材料ガアルノデゴザイマスガ、ソレハ陸軍省カラ大正十二年ノ十二月ニ恩給局ヘ送付ヲ致シタ回答要旨ト云フモノデアリマシテ、若シ是ガ偽造デアアルカ或ハ誤リデアルト云フナラバ御訂正ニ依、テ私ハ撤回ヲ致シマス、試ミニ讀ンデ見マス「一、北海道屯田兵ノ豫備服役ノ狀態ニ付テハ其ノ年代ニ依リ多少ノ差異アルモ概シテ現役期間ト同視スヘキ

○男爵淺田良逸君 屯田兵ノコトニ付テ繼續シテ質問シタイト思ヒマス、屯田兵ニ關スル問題ハ隨分久シキニ互、テ居リマシテ、

モノナリト認メタリ、二、既ニ屯田兵現役期間ノ通算ヲ認メラレタル今日更ニ服役ノ實質論ヨリ豫備役期間ノ通算ヲ要求スルニ至リタルハ相當理由アルモノト認ム、三、但本件決定ニ付テハ同時ニ一般現役期間ノ服務ト同視スヘキ屯田兵以外ノ豫備役軍人ノ勤務演習召集期間ニ付相當考慮ヲ要スルモノト考フ、是ハドウモハキリ致シマセヌケレドモ、陸軍省カラ當時恩給局ヘ送付シタ回答要旨ト伺テ居ルノデアリマス、ソレハ兎モ角ト致シマシテ當時ノ法令ガ根據トナッテ居ルヤウデアリマスノデ、此嚴格ニ現ハレテ居リマス所ノ法令規則ト、當時司令官師團長等ガ訓示ヲ致シ、或ハ會議ヲ開イタ時ニ於ケル公文ニ殘ッテ居リマスモノナドヲ如何様ニ御調べニナッテ居リマセウカト思フノデアリマス、細カク内容ニ入ッテ見マス、屯田兵ノ給與令ト云フ規則ノ中ニ第五章被服ノ部ヲ見マシテモ、現役豫備役下士兵卒ハ定員ニ應ジ現品ヲ給ス、後備兵トハ全然別ニ扱ッテ居リマス、給與令ニ於ケル所ノ扱ハ豫備モ現役モ同ジコトニナッテ居ルノデアリマス、尙ホ細カイコトハ省略ヲ致シマス、ソレカラ消耗品陳營具ノ部ニ於キマシテモ亦同様デアリマシテ、其表ノ中ニ現役ノ歩兵中隊ト、豫備歩兵中隊ト

ハ併列シ其後ニ騎工兵ノ現役ノ中隊ヲ見テ居ルヤウナ譯デ、表ヲ一覽イタシマスレバ現役ノ歩兵ト騎兵トノ間ニ豫備ノ中隊ヲ挿入イタシテ居リマシテ、明ニ現役豫備ハ同一トナッテ居リマス、從テ後備役下士兵卒召集中ノ消耗品ハ所屬ノ隊ニ交付スル云々、後備ニ至ッテ初メテ其取扱ヲ異ニスルコトガ明デアリマス、ソレカラ明治二十七年大隊長會議ニ於ケル色々ノ協議事項ヲ讀ンデ見マス、是ハ現役カラ豫備ニ變ル場合ニハ別ニ格段ナ解除式等ノ取扱ハ要ラナイノデアル、即チ延長デアル、後備ニナッテ初メテ此解除式ヲ行フノデアル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ現役ト豫備トハ同ジ扱ヒデアル、而モ豫備ノ中隊ノ中ニハ現役士官ガチヤント編入セラレテ居リマシテ、サウシテ之ヲ統率シテ居ルノデアリマス、從テ將校ガ現役中隊カラ豫備役ノ歩兵中隊ニ變リマシタ場合ニ於テハ別ニ命課布達式モ行ハナイヤウニナッテ居リマス、其次ニハ屯田兵ノ内務規程ノ中ヲズツト見テ參リマス、サウスルト豫備役ノ中隊ニアリマシテモ矢張り常務下士ト云フモノヲ置キマシテ、諸般ノ常務ヲ取扱ッテ居リマス、命令簿等モアリ、總テノ内務上ノ觀察カラ致シ、現役ト何等差ガナイヤウデアリマス、從テ豫備役ノ下士卒ガ願

ヒ届ヲスル場合、病氣ニ罹ッタ時等ニ於キマシテモ是亦週番下士ニ届出ル等ノコトノ義務モゴザイマス、殊ニ其顯著ナル例ヲ舉ゲテ見ルト、只今申シタモノノ第十五條ニ豫備役ノ中隊内務ニシテ前條ニ規定セザルモノハ現役中隊ノ規程ニ準據スルモノトス、即チ軍隊ニ於キマシテハ内務ハ非常ニ大切デアル、之ニハ重要ナ規則ガアル、其規則ニ於テ明瞭ニ豫備役ノ中隊ノ内務ヲモ現役中隊ノ規程ニ準據スルト云フ拘束力ヲ與ヘテ居ルコトニ依ッテ是ハ延長ト云フコトヲ考ヘル一證左カト思フノデアリマス、ソレカラ色々當時ノ命令ヲ今度縊イテ見マス、云フト、豫備役ノ中隊ニ對シマシテ、普通ノ現役部隊ニ對スルト同様ノ嚴格ナル命令ガ出テ居リマス、同ジ命令ノ中ニ現役中隊ニ關スルコトト、豫備役ニ關スルコトトヲ一ツノ命令文ノ中ニ掲ゲテ、サウシテ明示シテ居ルコトハ是亦扱ヒ方ガ現役ト同様デアリヤウニ觀察ガ出來マス、明治三十年ニ野津東部都督ガ向ウニ行カレテ檢閲シタ時ノ書類ナドヲ見マシテモ、豫備ノ中カラ命令トシテ當番ヲ旅館ニ派遣スル等ノコトモアリマス、其他勤務ハ總テ豫備役ト現役ト同様ニ課セラレテ居リマス、同様ノ檢閲ヲ受ケテ居リマス、次ハ豫備カラ後備ニ變ッタ場

合ニ於キマシテ是ハ後備ニナッテ初メテ變ル、屯田兵ヲ除ケバ現役カラ豫備ニ變ル時ハモット格段ノ差デアル、ソレカラ唯延長トシテ後備ニ變ッテ行クノデゴザイマスケレドモ、屯田兵ニ於キマシテハ斯ウ云フ工合ニナッテ居リマス、屯田兵ノ後備役ハ各師團ノ豫備役ト同ジク有事ノ場合ニハ第一線……第一ニ召集セラルベキモノナレバ云云、即チ後備役ニナルト各師團ノ豫備兵ト同ジク有事ノ日ニハ第一線ニ召集セラルベキモノナリ、豫備役デアッタノハ現役ト同ジモノデアルト云フコトガ茲デ反證ガ出來ルノデアリマス、其他若干ゴザイマスガ、私ノ今申上ゲマシタノハ規則ノ上ニ現ハレタコトガ當時ニ於テ斯ウ云フ公ニセラレテ居ル所ノ訓令、訓示、大隊長、或ハ其他ノ司令部ノ會議ノ場合ニ於ケル公文書ノ拔萃デアリヤウニ考ヘマスガ、若モ是ガ偽リデアッタナラバ私ノ申上ゲタコトハ是ハ撤回セニヤナリマセヌ、果シテ是等ノ點ニ付テ十分ニ御調べニナッテノ御回答デアルカ、從來陸軍當局ノ屯田兵ノ陳情者ニ付テ今マデ述べ來タルコトト著シキ差異ヲ認メテ居ルノデアリマス、就中憤慨ヲ致シテ居リマスル者ハ此速記録ノ中ニ斯ウ云フコトガ書イデアリマス、豫備役ハ今日ノ青年

訓練ト比較シテハ如何カト思ヒマスガ、ア
ア云フヤウナ要領デ豫備役ハ義務ハナカ
タノデアルケレドモ、教練ヲヤルノモ愉快
カラ出テ行カウト云フヤウナ考デ行タノ
デハナカラウカト思フノデアリマス」ト云
フコトガアリマスケレドモ、左様ニ樂ミ半
分ニ教練ニ出テ行タノデハナク、全ク現
役ト同ジ拘束力ノ下ニ命令ニ依テ動イタ
ノデアルト云フコトヲ非常ニ痛憤シ、且ツ
當時ノ狀況ヲ詳シク話ヲシテ居ルノデアリ
マス、無論私ハ是ハ主トシテ陸軍ニ關係シ
タコトヲ申上ゲマシタガ、政府委員ノ述ベ
ラレタコトニ於キマシテモ是ハ同様デアリ
マスガ、恐ラク政府委員ノ方ハ陸軍ノ述ベ
タコトヲ根據トシテノ御話デアラウト思ヒ
マスノデ、暫ク其方ハ保留シテ置キマシテ
以上ノコトニ關スル御説明ヲ願ヒタイト思
ヒマス

○説明員(中井良太郎君) 只今淺田男爵カ

ラノ御尋ニ對シマシテ御答ヲ致シマス、一
番初メニ御讀上ゲニナリマシタ陸軍省カラ
屯田兵ノ豫備役ニ關シマスルコトニ付キマシ
テ通牒力何カ行テ居ルト云フ御話デゴザ
イマシタガ、記録ハ相當古イモノデゴザイ
マスシ、私ハマダ調ベタコトモゴザイマセ
ヌガ、過去ニ於テ斯ノ如キ自分ハ考ヲ持

チ、今日變更シタト云フ譯デハゴザイマセヌ
デ、私共ハ兵役義務者及廢兵待遇審議會當
時ノ議事録ヲ基礎トシテ申上ゲタ次第デゴ
ザイマス、從ヒマシテ大正十二年ノ御示シ
ニナリマシタ陸軍ノ通牒デアリマスカラ、
其點ニ付キマシテハ篤ト調ベマシテ御答ヲ
申上ゲマス、其次ニ給與令或ハ内務規定ノ
問題ニ關シマシテ色々詳細ニ御調ベニナリ
マシテ御示シテ戴キマシタガ、矢張り兵役
義務者及廢兵待遇審議會ノ當時ニ於キマシ
テハ、是等モ能ク御調ベニナテ居タヤウ
ニ速記録ニハ見エテ居リマス、私ハ甚ダ非
才ニ致シマシテ此屯田兵ノコトニ付キマシ
テハ十分ニ本制度ノ内容ニ頭ヲ突込ンデ研
究シタコトモゴザイマセヌガ、唯審議會
答申ノ際ニ議セラレマシタ記録ヲ今日マデ
基礎ニシテ居ルノデアリマス、唯是ハ想像
ニナリマシテ、或ハ當ラヌケレバ訂正ラセ
ヌケレバナラヌト思ヒマスガ、一般ノ在郷
軍人ニ於キマシテモ豫備役期間ニ於キマシ
テハ可ナリ拘束力ガアリマシテ、普通ノ人
トハ違テ居ルノデアリマス、屯田兵ハ一
ツノ兵村ニ起居イタシマシテ、兵ノ一ツノ
制度デアリマス爲ニ、此間一般ノ者ガ各
自分ノ居住地ニ散在シテ居ルニ對スル拘束
力ヨリハ更ニ一層ノ拘束力ガアッタコトハ

私共モ決シテ認メナイ譯デハゴザイマセ
ヌ、其點ハ能ク認メテ居ルノデゴザイマ
ス、併シ今日マデ軍人ノ恩給年ニ加算サレ
マスモノハ現役或ハ召集期間ト云フヤウ
ニ、所謂現實ニ軍務ニ服シテ居ルト云フ所
ノ期間ヲ探テ居リマシテ、唯一般ニハ休
職トカ停職トカ或ハ待命トカ云フ期間ハ多
少通算セラレマス、セラレマスト云フト
ドウシテモ屯田兵ノ教育順次教令ヲ基礎ニ
議論ヲスルノガ一番正確デハナイカト存ジ
マス、當時ノ兵役義務者及廢兵待遇審
議會ニ於キマシテハ屯田兵順次教令ヲ
基礎ニ教練セラレテ居ルヤウニ承テ
居ルノデアリマス、之ニ依リマスト云フ
ト豫備役ハ一年ヲ通ジテ三週間ダケ教育
ヲスルノデアルト云フ風ニ示シテアルモノ
デアリマスカラ、現役トノ間ニ於キマシテ
可ナリ其處ニ開キガアルト思ハレルノデ
アリマス、又事務的カラ申シマスト云フト、
此請願ヲ認メルニ付キマシテハ其權衡上大
正十二年以前ノ豫備役服役期間ニ關シマス
ル所ノ一般兵ニ對スル所ノ勤務演習ノ召集
期間ヲモ通算セヌケレバナラナクナルノデアリ
マス、斯様ナコトハ財政カラ申シマシテモ、
證據書類ノ整理カラ申シマシテモ到底實行
ガ出來マセヌノデ、此點ハ一般ノモノト比

較シテ如何カト考ヘラレルヤウナ次第デゴ
ザイマス、併ナガラ繰返シテ申上ゲマスガ、
屯田兵ノ豫備役期間ニ於キマシテモ、一般兵ガ
豫備役トシテ所々ニ散在シテ居住シテ居リ
マスル狀態トハ非常ニ違フコトハ私共八十
分ニ認識シテ居ルノデアリマス、從テ請願
者達ノ申サレルコトモ理窟ハ決シテ無イト
ハ言ハナイ、併シ之ヲ恩給法ヲ以テ解決ス
ルト云フコトハ先程モ申上ゲルヤウナ理由
ニ依リマシテ如何カト思ヒマス、唯之ニ對
シテ一時的ノ慰藉ノ意味ニ於キマシテ一時
金ヲ支給シヤウト云フコトニ審議會デハ決
定ヲ與ヘタヤウナ次第デゴザイマス、尙ホ
最後ニ一言御斷リ申上ゲマスガ、衆議院ニ
於キマスル私ノ説明ガ、豫備役ハ青年訓
練見タヤウナモノデハナイカト云フコトヲ
申シマシタコトハ速記録ノ通りデゴザイマ
スガ、其時ニモ適當ナル例ガゴザイマセ
ヌ、非常ニ當ラヌト思フガト云フ御斷リノ
下ニ申上ゲマシタ次第デゴザイマシテ、決
シテ是ガ全然同ジモノデアルト云フヤウナ
考ノ下ニ申上ゲタノデハゴザイマセヌ、唯
屯田兵ガ、義務心ガ旺盛デ兎ニ角ニモ法律
的ニ義務付ケラレタ以外ニ進ンデ喜ンデ勤
務ニ服シタノデアラウト云フ意味合ノコト
ヲ申上ゲタ積リデアリマスカラ、ドウカ其

邊ハ御諒承ヲ御願ヒ致シマス

○男爵淺田良逸君 最後ノ御言葉ハ至極私

モ左様デアラウト御察シ致シテ居リマスノ

デ、此速記録ハ非常ニ敏感ニ響ク譯デアリ

マスカラ、私ハ決シテ左様ニ恩賞課長ガ御

考ヘニナッテ居ルトハ思ヒマセヌ、只今ノ御

訂正即チ普通ノ豫備兵ト違ッテ大ニ現役ニ

近似シタモノデアルト云フコトヲ明ニセラ

レタコトヲ私ハ感謝スル次第デアリマス、

次ニ一番初メニ御話ノアリマシタ大正十二

年十月ノコトハ調ベテ御答ヘスルト云フコ

トデアリマスカラ、ソレハ省略イタシマ

ス、諸般ノ規則ノ中デ教育順次教令ニ依ッ

ト云フコトモ異存ハアリマセヌケレドモ、

教育順次教令ノミガ當時ノ規則デアリマ

セヌカラ、他ノ各般ノ規則ニ互ッテ尙ホ一

層篤ト御調ヲ願ハヌケレバナラスト云フコ

トヲ申添ヘテ置キマス、次ニ屯田兵ノ此服

役關係ヲ通覽イタシマスルト最初ハ豫備モ

後備モ無ク、全然屯田兵ノ一ツノ名稱デゴ

ザイマシタシ、中間ニナッテ現役三年、豫備

四年、後備十三年トナリ、續イテ今度ハ豫

備ガ無クナッテシマッテ、現役七年乃至八年、

後備十三年ト變ッテ居リマス、此變遷ヲ見タ

時ニ於テ、偶、起リマシタ所ノ豫備ト云フ

モノハ特殊ノモノデアルト云フコトニ何人

モ注意ヲ拂ハヌケレバナラストデアリマス、

即チ此當時ニ於キマシテハ、金ノ關係等カ

ラ考ヘテ六時間モヤレバ何ボ金ヲ與ヘヌケ

レバナラスト云フコトガアリ、ソレ程北海

道ノ經濟ニ於テハ豐カデナイカラシテ、マ

ア現役ノ時相當ナ金ヲヤッテ居ルカラ、豫備

ニナッタテモ恩典ガアルカラマア前等

ハ豫備ト云フ名前ニ皆ナレト云フノデ、短

イ期間ニ於テ豫備ナル名稱ヲ付セラレタケ

レドモ、其實際ニ於テハ、前後ヲチヤント

挾ンデ屯田兵トシテアルノデアルカラ、事

後ニ於テ現役七年乃至八年ニナッタト云フ

ノト全然同ジ性質デアルト云フコトヲ主張

セネバナラストデアリマス、其次ニ此豫備

役ニ對シマシテ、斯ノ如クニシテ適及スル

ト云フコトニナレバ、ソレハ大變ナコトダ、

金ハ無イ、外ノ豫備役ニ於テモ同様デナイ

カト申スケレドモ、其處ハ非常ニ特異性ガ

アルコトヲ何人モ、私ハ是認シテ下サルト

思フ、北海道開拓ノ爲ニ、アノ未墾ナ、マ

ダ非常ニ開ケナイ、熊モノソノシテ居

ルト云フ時ニ屯田兵ニ依ッテ開墾セラレ

テ、今日ノ光輝アル發達ヲ見ルニ至ッタモ

ノデアリマスノデ、而モ是等ハモウ老年

ニ達シテ、極ク少數者ガ殘ッテ居ルダケナ

ノデアリマス、左様ナモノヲ俄ニ、之ヲ

比較シテ、何年以後ノ是ハ豫備モ同様ダカ

ラ、其權利ヲ主張サレテハ困ルト云フ如キ

コトハ、全然アリ得ベカラザルコトデアル

ト思フノデアリマス、依テ私ハ只今ノ此陸

軍ノ御答ニ依リマシテハ、モットノ深刻ニ

御調査ヲ願ハヌケレバナラスト、尙ホ頻ニ此

審議會ノ話ガ出マスケレドモ、其中ニ於テ

果シテ實際北海道ノ第七師團、或ハ北海道

ガ屯田兵制度デアリマシタ時代ノ人ガ入ッ

テ居ッタカドウカ、サウシテ篤ト今ノ如キコ

トノ實況ガ寫サレタカ否ヤ、然ラズンバ唯

形式ノ上ニ現ハレタ所ノ一ツノ資料ニ依ッ

テ決定ヲシタノデハナカラウカ、若シ今申

シクヤウナ深刻ナ御調ベニナッタトシタナ

ラバ、必ズ私ハアノヤウナ同情アル決定ヲ

致シマシタ審議會ニ於テ、此屯田兵ノ久シ

キニ互ッタ問題ヲ、斯ノ如ク御粗末ニアッ、サ

リト扱ッテシマッタコトハナカッタと思フノ

デアリマス、私ハ此外ニ政府委員ニ對シテ

モ多少申シタイコトガゴザイマスケレド

モ、此問題ニ付キマシテハ、先ッ陸軍デ肚

ヲ決メテ戴クコトガ必要ト思ヒマスノデ、

ソレダケノコトヲ申シテ置キマス次第デゴ

ザイマス

○男爵井上清純君 政府委員ニ御尋ネシマ

スケレドモ、今ノ淺田男爵ノ御質問ニ關聯

千名位……

○説明員(中井良太郎君) 只今最大限ニ見

マシテ約五千人餘リニ考ヘテ居リマス、此

色ミ請願者ガ、各種ノ請願ヲ爲ス者ガゴザ

イマスガ、其各種ノ請願ヲ合シマシテ約五

千人程度ノ者デナイカト判斷ヲサレテ居ル

ノデアリマス、師團ノ方ニ言ウテ調べマス

ト、ソレヨリ稍、少ナイヤウニ考ヘマスガ、

得テ斯ウ云フモノハアトデハ多クナリ易イ

モノデゴザイマス、豫算ヲ編成イタシマス

ルヤウナ時ニハ、凡ソ五千人標準位ニ致シ

マシタラドウカト云フ考デ居ル次第デゴザ

イマス

○男爵淺田良逸君 只今ノ副委員長ノ御話

ハ、此請願ト言ヒマスカ、各種類ゴザイマ

スケレドモ、私ノ今述べタノハ重點ヲ豫備

役ト名稱ヲ冠セラレタル時代ノコトデアリ

マシタガ、ソレガ五千人アルト云フ御答デ

スカ

○説明員(中井良太郎君) 左様デハゴザイ

マセヌ、或ハ現役ニ對スル一時恩給トカ、豫

備役ヲ通算シテ呉レトカ、サウ云フ者ヲ

合シマシテノコトデゴザイマス

○男爵井上清純君 只今ノ屯田兵ノ問題デ

アリマスガ、是ハ明治二十七年デアッタと思ヒマスガ、ソレ以來ノ長イ間ノ問題デアッテ、斯ンナニ長ク一ツノ問題ガ、コダハッテ居ルト云フコトモ非常ニ不思議ナコトデアリマス、サウシテ其人達ガ非常ニ眞劔ニ毎年毎年請願ヲシタリ、色々運動シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、然ルニ此問題ニ付テ恩賞課長ノ衆議院ニ於ケル所ノ冷淡ナル態度ト言ヒマスガ、非常ニサウ云フ感情ヲ激スルヤウナ態度ガアッタヤウニ思フノデアリマスガ、是ハ多數ノ人ニ關係スル問題デアリマシテ、ソレ等ノ人ガ生活ニ怯エテ居ル、ソレデアアルニモ拘ラズ斯ノ如ク慎重ヲ缺イタ所ノ御答辯デアッタリナンカスルト、益々此感情ヲ刺戟スルヤウナ氣ガスルノデアリマス、ソレデ國軍ノ矢張り一部分デアッテ、將來ニモ及ボスモノデアリマスカラ、此事ニ付テハ更ニ慎重ニ御考究ヲ願ヒタイ、サウシテ一時金ナリ、多少タリトモ色合ヲ著ケテヤルコトガ人心ノ險惡ニナルコトヲ幾ラカ緩和スルノデハナイカ、モウ此邊デ以テ何カ解決シテヤラヌト、彼等ハ非常ニ失望ノ中ニ陥ッテシマウノデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ感ガスルノデアリマスアレドモ如何デアリマセウ

○説明員(中井良太郎君) 屯田兵ノ問題ニ

付キマシテ、今日マデ決シテ此問題ダケニ十七年來持ッテ來テ居ルト云フヤウナコトデハゴザイマセヌデ、過去ニ於キマシテ恩給法ニ通算イタシマスル公務員トシテ通算ヲ認メラレマシタノハ戰役事變ニ從事シタル場合ニ限ルト云フコトニ、昔ノ恩給法ニハナッテ居ッタノデアリマスガ、大正六年ニ屯田兵村ニ、屯田兵部隊附トシテ服務イタシマシタ期間ヲ恩給年限中ニ通算セラレ、續キマシテ大正十二年ニハ其現役期間ヲモ恩給年ニ通算スルヤウニ改正セラレテ居リマス、是ハ何レモ屯田兵達ノ請願ニ依リマシテ斯様ニ改正セラレタモノト承知ヲ致シテ居リマス、デ其後更ニソレデ満足ヲシマセヌデ、先程申シマシタヤウナ請願ガ出テ參ッテ居ルノデアリマス、デ私ハ衆議院ニ於キマシテ決シテ熱ノ無イ冷淡ナ答辯ヲシタ積リデハゴザイマセヌガ、言葉態度等ニ於キマシテ、自分ノ不徳ノ致ス所ヨリ左様ニ見エタカ存ジマセヌガ、總テノ施設ニハ緩急ガアル、之ニ從ッテ實現セヌケレバナラナイ、斯ウ考ヘマシテ今日マデ來テ居ルノデゴザイマスガ、屯田兵ノ事モ決シテ下積ミニハ致シテ居リマセヌ、陸軍ト致シマシテハ昭和八年度ノ新規要求ニモ、昭和七年度ノ新規要求ニモ何レモ私共トシテハ、主

務課トシテハ提出イタシマシタ、或時ニハ省議デモ暫ク待テト云ハレマシタコトガアリマシタガ、昭和八年ニ至リマシテ大藏省ノ方ニモ廻付セラレマシタガ、色々緩急順序ガゴザイマシテ、遂ニ議會ノ方ニ提出スル豫算ノ中ニ組マレルヤウナコトニハ運バナカッタノデアリマシテ、決シテ冷淡ニ之ヲ考ヘテ居リマセヌ、唯恩給年ニ豫備役ヲ通算スルトカ云フコトニ付キマシテハ、私ハ元々反對イタシテ居リマスノデ、出來ルダケ審議會ノ方針デ進ミタイト云フ考デアリマス

○男爵井上清純君 別ナ問題デアリマスガ、

恩給局長ナリ政府委員カラ御答ヲ願ヒタイ、此改正法律案ガ國家財政ニ及ボス影響ト云フ表ノ中デ以テ國庫納金增收ト云フコトガアルノデアリマス、今迄ハ文官カラ俸給ノ百分ノ一ヲ納メテ居ッタノデアリマスガ、何ノ根據ニ依ッテ納メテ居ッタノデアリマスガ、又ソレガ積立金デナクシテ、唯國庫ニ其儘入レルノデアリマスレバ、減俸ト同ジ意味デアリマスルカ、其點ヲ明確ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(堀貝詮三君) 現行法ニ於キマ

シテ、國庫納金ハ、是ハ此現在ノ恩給法ノ前身デアリマスル所ノ官吏遺族扶助法ヲ繼

承イタシマシタ爲ニ、斯ウ云フ風ニ、現行法ニ殘ッテ居ル譯デアリマスガ、其官吏遺族扶助法ハ、丁度現行法ニ舉ゲラレテアリマスヤウナ種類ノ即チ國庫納金モ認メラレテ居リマス種類ノ、公務員ノ全部ニ付キマシテ、各ソレノ恩給法デ準用セラレテ居リマシタ、十二年ノ改正ニ於キマシテハ、其儘ニ之ヲ恩給法中ニ取入レタ次第デアリマス、ソレデ其官吏遺族扶助法ノ國庫納金ノ制度ハ明治ノ初メニ於キマシテ、佛蘭西ノ遺族ノ扶助料制度ニ則リマシテ出來マシタモノデゴザイマス、佛蘭西ノ制度ニ依リマスト、國庫ガ補助ヲ致シマシテ、サウシテ遺族ノ扶助料ヲ、一種ノ特別會計ヲ以テ、其制度ヲ認メタト云フコトニナッテ居リマシタノデアリマス、大正十二年ノ現行法制定當時ニ於キマシテモ、同ジ恩給法ノ中ニ收メル以上ハ、之ヲ撤廢スベキモノデアルカドウカト云フコトモ、論議セラレタノデアリマスアレドモ、此點ニ觸レマセヌデ、ト申シマスノハ大正十二年ノ政府案ハ、納金ノ一般増額ハ致シマセヌノデ、斯ウ云フ點ニ觸レテモ制度ガ得ラレナカッタ爲ニ、此儘ニ參リマシタ次第デアリマス

○男爵井上清純君 國庫納金ト云フノハ積

立金デハナイト思ヒマスルガ、單ニ國庫ガ

收納スルノデアリマスガ、官吏カラ……サ
ウスルト、減俸ト云フ意味ト思ヒマスガ、
ドウデアリマスカ

○政府委員(樋貝詮三君) 減俸ト云フ風ニ

モ讀メマスガ、減俸ト申シマスルヨリハ、
寧ロ今日アリマス、雇員ナドニアリマス共
濟組合ノ納金ト云フヤウナ性質ヲ元ハ持ッ
テ居リマシタ、デ一方國庫ニ於ケル公務員

ノ遺族ニ對スル給與ニ付テノ國庫ニ對スル
一ツノ御奉公ト申シマスガ、今日カラ申シ
マストサウ云フ性質ニナラデ居リマス

○男爵井上清純君 サウ云フノデ元ハアッ

タカモ知レマセスケレドモ、今日ニ於テハ、
單ニ國庫ガ收納スルノデアラテ減俸ト云フ
意味合ト少シモ變ラヌト思ヒマス、ソレガ
此度ノ改正ニ依リマスルト、文官ハ百分ノ
二納メルコトニナルノデアリマス、サウシ
テ今迄無カッタ所ノ武官、軍人ハ百分ノ一納
メルコトニ此度改正ニナルノデアリマス、
サウスルト、既ニ減俸サレテ居ル所ノ文官

ガ、ソレガ爲ニ此改正法律案ニ依ッテ百分ノ
一乃至百分ノ二ト云フモノノ減俸ト云フコ
トニナルノデアリマスガ、ソレデ宜シイノ
デアリマスカ

○政府委員(樋貝詮三君) 減ルト申セバ減

ル譯デゴザイマスガ、減俸ハ現ニ受ケツツ

アルモノヲ更ニ積極的ニヘコマス、減ラス
ト云フコトニアリマスケレドモ、今回ノ案
ニ於キマシテハ個人ニ付テ昇給スル或ハ一
般増額ヲ行フト云フ、イヅレニ致シマシテ
モ個人ニ付テハ係給ガ増シマスル場合ニ其
増方ノ幾分ヲ減ラスト云フコトデ、所謂減
俸トハ餘程方向ガ違フト考ヘテ宜シイノデ
ナイカト存ジテ居リマス

○男爵井上清純君 然ラバ昇給ガアッタ時

ニ百分ノ一乃至百分ノ二ヲ納メルノデアラ
ウト思ヒマスルガ、ソレ亦矢張り減俸デア
ルノデアリマス、折角上ノ官ニ昇給シタカ
ト思フト其官ノ全俸給ヲ戴クコトハ出來
ズ、其中カラ百分ノ一乃至百分ノ二ヲ差上
ゲナケレバナラスノデスカラ矢張り減俸デ
アラウト思フ、サウスルト何時カラソレガ
行ハレルノデアリマスガ、今法案ガ通リマ
スルト直グ昇給スル人ガアル、其人カラ是
ハ取ルノデアリマスカ

○政府委員(樋貝詮三君) 直チニ取ルノデ

ハゴザイマセズデ、各個人ニ付キマシテ、別々
ニ進行シテ參リマシテ、昇給ナリ又ハ増額
セラレマシタ月ノ翌月カラ百分ノ一ダケ増
シテ行クト云フコトニナリマス、ソレハ附
則ノ第九條ニ其規定ガゴザイマス

○男爵井上清純君 然ラバ今年度ニ於

テ……來年度ニ於テ其附則ニ該當スルノハ
文官ニ於テアルノデアリマスガ、武官ニ於
テモアルノデアリマスカ

○政府委員(樋貝詮三君) 文官ニ於テモ、

武官ニ於テモアリ得ルノデアリマス

○男爵井上清純君 海軍武官ダケニソレガ

適用サレルノデアリマセヌカ、今年ニ於テ
ハ……

○政府委員(樋貝詮三君) 總テノ方面ニ昇

給ガナケレバデゴザイマスガ、今年度ニ於
キマシテモ官吏ニ昇給スル者ガ澤山アリマ
セウシ、總テノ公務員ニ付キマシテ百分ノ
一ダケ昇給イタシマスルト……大抵昇給ハ
個々ノ俸給ノ一割五分、或ハドンナニ少ナ
クテモ一割位昇給イタシマスガ、其昇給シ
マシタ中カラ百分ノ一ダケ減スト云フコト
ニナルノデアリマス

○男爵井上清純君 陸海軍ノ政府委員ガ御

イデニナルナラバ、陸海軍ノ政府委員カラ
今ノ御答辯ヲ顧ヒタイ、何時カラ自分ノ方
デハソレガ關係スルノカ……

○説明員(多田武雄君) 私カラ御答ヘ申上

ゲマス、海軍ノ大部分ハ進級イタシマスノ
ハ凡ソ例年決ッテ居リマス、下士官ト准士官
ニ付キマシテハ十一月一日附デアリマス、
士官、特務士官ノ大部分ハ十二月一日附デ

ゴザイマス、ソレダケ申上ゲマス

○説明員(中井良太郎君) 陸軍ト致シマシ

テ此改正ヲ行ヒマスレバ十二月ノ異動ニ於
キマシテ……本年ノ十二月ノ異動ニ於キマ
シテ進級スル人達ガ先ヅ先キニ納金制度ニ
引ッ掛ル、斯ウ云フ關係ニナリマス

○男爵井上清純君 本年ノ十二月一日ノ進

級ニ引ッ掛ルノデアリマスガ、海軍ノ方デ
ハ何時引ッ掛ルノデアリマスカ

○説明員(多田武雄君) 只今申シマシタヤ

ウニ十一月一日附デ進級イタシマス准士官
ト下士官、ソレカラ十二月一日附デ進級イ
タシマス士官、特務士官ガ此適用ヲ受ケル
コトニナルノデアリマス

○男爵井上清純君 文官ノ方ハ何時カラデ

スカ

○政府委員(樋貝詮三君) 文官ノ方ハ非常

ニバラ……デゴザイマスガ、從テ十月一日
ニ法律ガ施行イタシマスルト十一月一日ニ
モ相當適用ヲ受ケテ行クダラウト思ヒマ
ス、絶エズゴザイマスガ、判任官級ノ俸給

ハ十二月トソレカラ六月、或ハ場合ニ依リ
マスルト四月豫算ガ通リマシテ、四月ト云
フヤウナ時ニ一番多ウゴザイマスガ、併シ
文官ノ方ハ絶エズ是ハゴザイマス

○男爵井上清純君 此恩給額ガ毎年々々殖

エテ行ク、此累増額ヲドウカシテ止メナケ
レバナラスト云フノガ、此改正法律案ノ大
體主眼ノヤウニ承テ居ルノデアリマス、其
方法手段ヲ色々御考慮ニナツタ上ニ於テ是
ハ根本的ニ法律案ヲ改正スルニアラズン
バ、到底其目的ヲ達スルコトガ出来ナイト
御考ヘニナツタラシイノデアリマス、併ナガ
ラ根本的ニ改正スレバ今マデ持ッテ居ル所
ノ恩給權ト云フモノニ多少關係シマスルカ
ラ、其根本的ノ改正ハ此内閣ト雖モ出来ナ
イノデアッテ、其處ニ於テ色々ノ方法ヲ考ヘ
ラレタ後ニ國庫納金ノ増收ト云フコトヲ考
ヘラレタモノト思ヒマス、此國庫納金ノ増
收ハ此表ニ依リマスルト、施行後第一年ニ
四百萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、第二
年ニ五百萬圓、第三年ニ六百萬圓ト云フコ
トニナツテ居リマス、一體二箇年ナリ一箇
年延バスコトニ依ッテハ遂ニ此財の影響ノ、
大キナ影響ヲ持チ來スコトガ出来ナイカラ
國庫納金ダケニ依ッテ、主トシテ之ニ依ッテ
此恩給ノ増額スベキ情勢ヲ阻止ジャウト爲
サツタノデアルト云フコトヲ明確ニ御答ヲ
願ヒタイノデス

○政府委員(補員詮三君) 國庫納金ハ國庫
ノ收入ニナリマス、今回ノ改正案ニ於キマ
シテモ收入ニナリマス大キナモノノ一ツデ

アルコトハ御説ノ通りデゴザイマスガ、併
シ是ガ殆下全部ニ互ルカト仰シヤラレマス
ト、實ハサウデゴザイマセヌデ、先程御舉
ゲニナリマシタ數字ハ少シ喰違テ居ル
ヤウニ思ヒマスガ、國庫納金ガ今度ノ増額
ニ依リマシテ「フル」ニナリマシタ時ガマア
大體四年後ト見テ宜カラウト思ヒマスガ、
ソレガ二百八十五萬圓バカリヲ政府デハ見
込シテ居リマス、ソレマデ順次増シテ參リ
マスガ、初年度、初年度ト申シマシテモ八
年度ハ十月カラ參リマスカラ非常ニ少ナウ
ゴザイマスガ、差上ゲマシタ調書ノ上ニ現
ハレテ居リマスノハ、滿一年ヲ、十月一日
ニ法律施行ヲシマシテ翌年ノ九月末日マデ
ノコトヲマア一年ト假ニ考ヘマシテ、四年
後ニ今マデノ統計ニ依リマス、大體一杯
ニナルノデソレガ大體二百八十五萬圓位ニ
ナルト云フ積リデ居リマス、是バカリガ財
源デヤナイノデゴザイマス

○男爵井上清純君 其他ノ整理ニ依ル減
額、年額百八十萬圓トシテアルノデアリマ
スガ、ソレハ百八十萬圓モ加ハッテノコト
デアルコトハ承知シテ居ルノデアリマス
レドモ、大部分ノコトハ國庫納金ニ俟ツト
云フコトデアラウカト思フノデ、此國庫納
金ニ依ッテ陸海軍ハドノ位ナ納金ニナルノ

デアリマスガ、陸海軍カラ……

○説明員(多田武雄君) 正確ニ計算イタシ
マシタ結果ノ數字上ノ御答ハ只今私カラハ
申上ゲ兼ねマスガ、概略ノ見當デ御宜シケ
レバ申上ゲタイト思ヒマス、海軍ノ從來ノ
統計ニ依リマスルト、毎年恩給資格ガ發生
イタシマシテ、退職イタシマス者ノ員數ハ
約三千人デゴザイマス、ソレカラ其三千人
ノ……、只今ノ御答ヘ申上ゲマシタノハ御
質問ノ趣旨ヲ全然取違ヘテ居リマシタカラ
前後ヲ取消シマシテ初メカラ御答ヘ申上ゲ
マス、海軍ノ新ニ此國庫納金ノ制度ノ適用
ニ依リマシテ、納メナクテハイケナイ地位
ニアリマス所ノ全部ノ人ガ納メルヤウニナ
リマシタ時ノ總額ハ約三十四萬圓位ダツタ
ト記憶シテ居リマス

○説明員(中井良太郎君) 陸軍ニ於キマシ
テモ全部納金ヲスルヤウニナリマシタナラ
バ約三十五萬圓ノ豫定デゴザイマスルガ、
是ハ昨年ノ調査デゴザイマス、今後兵備改
善ニ依リマシテ、人員ノ増減ガアリマシタ
ナラバ多少變ルダラウト存ジマス

○男爵井上清純君 然ラバ此國庫納金ノ増
收ハ専ラ文官ノ納入ニ俟ツコトニナルト思
ヒマス、此意味合ニ付キマシテハ私ハ恩給
改正ニ於テ、斯ウ云フコトヲヤッタガ宜イ

カドウカト云フコトハ自分ニハ能ク分ラナ
イ、判斷ガツカナイガ、不適當ナヤリ方ダ
ト思フノデアリマス、更ニ御質問イタシマ
スガ、段々日露戰爭ニ依ル恩給ト云フヤウ
ナモノガ、段々無クナツテ來ル、殊ニ近來ニ
於テハ激減スル兆候ガアルト思ヒマスガ、
ソレ等ヲ一體考ヘラレテ後ニ、恩給ガ増加
スルト云フコトヲ御心配ニナツテ居ルノデ
ゴザイマスガ、モウ程ナク此日露戰爭ニ依
ル所ノ恩給額ナドハ激減スルト思ヒマス、
決シテ恩給ノ前途ヲサウ悲觀スルコトハナ
イト思フノデアリマスガ、之ニ付テ見解ヲ
二ツニシテ居ルヤウナコトハナイノデアリ
マスガ、政府委員ノ方カラ伺ヒタイノデア
リマス

○政府委員(補員詮三君) 日露戰爭ノ爲ニ
恩給ニナリマシタ方ミノ恩給ガ、殊ニ扶助
料ナゾノ方ガ大分減ッテ參リマスコトハ茲
數年認メマシタ譯デゴザイマス、數字ノ上
ニモ其點ハ現ハレテ居リマシテ、先日差上
ゲマシタ管デゴザイマスガ、新規裁定ト權
利消滅トヲ御覽ニナツテ戴キマス、文官
ノ方ガ近年非常ニ殖エテ居ルニ拘ラズ、軍
人ノ方ガ割合ニ増加ト消滅トガ「バランス」
ヲ保チマシテ、ヒドク増加ニナラスヤウナ
傾向ニナツテ居リマス、權利消滅ノ方ガ割合

ニ多イ爲ニサウ云フ結果ヲ生ズルノデアリマス、其點ハ無論認メテ居ルノデアリマス

キヲ得ナイト云フコトが大キナ原因デアルコトヲ十分ニ御承知置テ願ヒタイト思ヒマス、更ニ海軍ノ方ニ承ハリタイノデアリマス、

シテ居ルコトニナッテ居リマス、但シ海軍ノ官制デハ此陸上勤務ノ者バカリデハゴザイマセヌデ、陸軍ナドト較ベマスト加算ト云フ恩典ニモ相當浴シ得ル者ガ數多クアルノ

恩給局ソレカラ陸海軍ノ御方ニ御尋ラシタイノデアリマス

○男爵井上清純君 今ノ文官ガ非常ニ「バランス」ガ取レテ居ナイト云フ御話デアリマスガ、此表ニ依リマシテモサウ云フヤウ

スケレドモ、恩給年限ガ二箇年増シ、下士官兵ニ於テハ一箇年増スコトニナッタノデアリマス、一等下士官ガ當リ前勤メマスル

デゴザイマス、從ヒマシテ一等下士官デ滿期ヲ取りマス是マデノ者ニ付テ見マスルト云フト、大體ニ於テ十三年程度ノ在職年ヲ

○政府委員(補員詮三君) 先日總理大臣カラ申上ゲマシタヤウニ恩給ハ、官吏ヤ軍人ガ協目モ振ラズニ公務ニ從事シテ居ルカラ、後ノコトナドト云フコトヲ考ヘテ、其爲ニ自分個人ノ爲ノ計ヲ爲シテ居ルト云フヤウナ暇ハ無イカラ、國家ハソレニ對シテ、

ニ認メルノデアリマス、昭和元年カラ昭和七年マデノ間、新規裁定ニナッタ者ノ狀況ヲ見マスルト、大體元年カラ五年マデハ

平均ニナッテ居リマススケレドモ、昭和七年ニナルト急激ニ増シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウニ増シテ居ル所ヲ見マスと云フト、恐ラク行政整理ノ結果デアラウト思ヒマス、詰リ任免黜陟ガ宜シキヲ得ナイ爲ニ

○男爵淺田良逸君 前回御忙シイ中ヲ總理大臣ガ御出デ下サイマシテ、軍人ニ對スル恩給ノ特色ヲ是認ラサレマシタ、ソレハ、軍人ガ罷メマシテモ出師準備ヲシナケレバナラヌトカ、精神及體力ノ保持ニ非常ニ力ヲ費ス、持辯當モスルト、斯ウ云フコトデアルカラソレヲ見テノ恩給デアアル、斯ウ云フヤウナ意味ガ明ニナッタ譯デアリマス、果シテ恩給局ニ於テ其趣旨ノ下ニ是ガ立案ヲサレテ居ルカ、ソレナラバ斯ウ云フ所ニ於テドウモ其根本精神ト違ッテ居ルヂヤナイカト云フ私ハ澤山ノ意見ヲ持ッテ居ルノデゴザイマススケレドモ、先ヅ以テ前回ニ於テ總理大臣ノ御述ベニナリマシタ方針ヲ徹底的ニ此中ニ組入レテ居リマスカ否ヤヲ

恩給ヲヤルノデアアル、從テ安ンジテ之ニ對スルモノデアルト云フコトヲ總理カラ申上ゲマシタヤウナ譯デアリマス、サウ云フ趣旨ハ全體ニ付テ、無論今回ノ恩給改正案ニ付キマシテモ、亦現行法ニ於キマシテモサウ云フヤウナ趣旨ガ到ル所ニアリマス、一例ヲ舉ゲマスルト、軍人ニ付キマシテノ在職年數ガ非常ニ短クテ恩給ニナレルト云フヤウナコトモサウ云フ所カラ出テ參リマシテ、特ニ是ガ制限サレルト云フコトモアリマスガ、今回下士以下ノ軍人ニ付キマシテハ外ノ一般公務員ガ二年ノ延長ヲサレマスルニ當リマシテ一箇年ニ止メル、斯ウ云フヤウナモノモ確ニ其一ツデアリマス、ソレカラ尙ホ現行法ニ於キマシテモ下士以下ノ軍人ニ付キマシテハ傷病賜金ト申シマスル、不具癈疾程度ニ達シマセヌヤウナ程度ノ怪我ニ對シマシテ、又病氣ニ對シマシテ給與

急激ナル増加ガ起ルノデアリマシテ、是等ニ對シテモ一ツ十分ニ御考究ヲ願ハヌ限リニ於テハ恩給法ヲ改正イタシマシテモ、一向ソレヲ阻止スルコトハ出來ナイト思ヒマス、陸海軍ノ方デハ大分殘ッテ居リマススケレドモ大體毎年平均シテ居ルノデアリマス、文官ダケハ急ニ殖エテ居ルノデアリマス、今後モ政變アル毎ニ巡查ニ至ルマデ更代シナケレバナラヌト云フコトデアアルナラバ當然恩給者ガ増スノデアリマスカラ、恩給額ノ殖エルコトヲ阻止スルコトハ出來ナイト

此法規ニ依ッテ更ニ裁定シナケレバ、恩給年限ニ達シナイト云フコトニナルノデアリマス、此點ニ付テハ恩給年限ニ達シナケレバ外へ出サヌト云フ方法ヲ執ラレルノカ、或ハ恩給年限ニ達シナクテモ仕方ガナイ、下士官ニナレバソレヲ出ス、或ハ二等兵曹ノ内ニ出シテシマウ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

不利益ナ狀況ニナラヌト考ヘマス

我ニ對シマシテ、又病氣ニ對シマシテ給與

ト云フコトハ、ドウシテモ任免黜陟ガ宜シ

○說明員(多田武雄君) 只今ノ海軍ノ人事行政ノ現狀ニ於キマシテハ、兵ガ下士官ニ進ミマス平均ノ勤務年數ハ約五年半デゴザイマス、ソレカラ下士官ニナリマスと保留服役ガ六箇年ニナリマスカラ、平均シマスと現在デハ六箇年ノ下士官ノ保留服役ヲ終ヘマシテ直チニ滿期スルモノト致シマシテ、尙且之ニ全然加算ガ加ハラナク場合ヲ想像イタシマシテモ十一年半ノ在職年ヲ有

シテ居ルコトニナッテ居リマス、但シ海軍ノ官制デハ此陸上勤務ノ者バカリデハゴザイマセヌデ、陸軍ナドト較ベマスト加算ト云フ恩典ニモ相當浴シ得ル者ガ數多クアルノ

我ニ對シマシテ、又病氣ニ對シマシテ給與

急激ナル増加ガ起ルノデアリマシテ、是等ニ對シテモ一ツ十分ニ御考究ヲ願ハヌ限リニ於テハ恩給法ヲ改正イタシマシテモ、一向ソレヲ阻止スルコトハ出來ナイト思ヒマス、陸海軍ノ方デハ大分殘ッテ居リマススケレドモ大體毎年平均シテ居ルノデアリマス、文官ダケハ急ニ殖エテ居ルノデアリマス、今後モ政變アル毎ニ巡查ニ至ルマデ更代シナケレバナラヌト云フコトデアアルナラバ當然恩給者ガ増スノデアリマスカラ、恩給額ノ殖エルコトヲ阻止スルコトハ出來ナイト

此法規ニ依ッテ更ニ裁定シナケレバ、恩給年限ニ達シナイト云フコトニナルノデアリマス、此點ニ付テハ恩給年限ニ達シナケレバ外へ出サヌト云フ方法ヲ執ラレルノカ、或ハ恩給年限ニ達シナクテモ仕方ガナイ、下士官ニナレバソレヲ出ス、或ハ二等兵曹ノ内ニ出シテシマウ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

不利益ナ狀況ニナラヌト考ヘマス

我ニ對シマシテ、又病氣ニ對シマシテ給與

急激ナル増加ガ起ルノデアリマシテ、是等ニ對シテモ一ツ十分ニ御考究ヲ願ハヌ限リニ於テハ恩給法ヲ改正イタシマシテモ、一向ソレヲ阻止スルコトハ出來ナイト思ヒマス、陸海軍ノ方デハ大分殘ッテ居リマススケレドモ大體毎年平均シテ居ルノデアリマス、文官ダケハ急ニ殖エテ居ルノデアリマス、今後モ政變アル毎ニ巡查ニ至ルマデ更代シナケレバナラヌト云フコトデアアルナラバ當然恩給者ガ増スノデアリマスカラ、恩給額ノ殖エルコトヲ阻止スルコトハ出來ナイト

此法規ニ依ッテ更ニ裁定シナケレバ、恩給年限ニ達シナイト云フコトニナルノデアリマス、此點ニ付テハ恩給年限ニ達シナケレバ外へ出サヌト云フ方法ヲ執ラレルノカ、或ハ恩給年限ニ達シナクテモ仕方ガナイ、下士官ニナレバソレヲ出ス、或ハ二等兵曹ノ内ニ出シテシマウ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

不利益ナ狀況ニナラヌト考ヘマス

我ニ對シマシテ、又病氣ニ對シマシテ給與

急激ナル増加ガ起ルノデアリマシテ、是等ニ對シテモ一ツ十分ニ御考究ヲ願ハヌ限リニ於テハ恩給法ヲ改正イタシマシテモ、一向ソレヲ阻止スルコトハ出來ナイト思ヒマス、陸海軍ノ方デハ大分殘ッテ居リマススケレドモ大體毎年平均シテ居ルノデアリマス、文官ダケハ急ニ殖エテ居ルノデアリマス、今後モ政變アル毎ニ巡查ニ至ルマデ更代シナケレバナラヌト云フコトデアアルナラバ當然恩給者ガ増スノデアリマスカラ、恩給額ノ殖エルコトヲ阻止スルコトハ出來ナイト

此法規ニ依ッテ更ニ裁定シナケレバ、恩給年限ニ達シナイト云フコトニナルノデアリマス、此點ニ付テハ恩給年限ニ達シナケレバ外へ出サヌト云フ方法ヲ執ラレルノカ、或ハ恩給年限ニ達シナクテモ仕方ガナイ、下士官ニナレバソレヲ出ス、或ハ二等兵曹ノ内ニ出シテシマウ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

不利益ナ狀況ニナラヌト考ヘマス

我ニ對シマシテ、又病氣ニ對シマシテ給與

急激ナル増加ガ起ルノデアリマシテ、是等ニ對シテモ一ツ十分ニ御考究ヲ願ハヌ限リニ於テハ恩給法ヲ改正イタシマシテモ、一向ソレヲ阻止スルコトハ出來ナイト思ヒマス、陸海軍ノ方デハ大分殘ッテ居リマススケレドモ大體毎年平均シテ居ルノデアリマス、文官ダケハ急ニ殖エテ居ルノデアリマス、今後モ政變アル毎ニ巡查ニ至ルマデ更代シナケレバナラヌト云フコトデアアルナラバ當然恩給者ガ増スノデアリマスカラ、恩給額ノ殖エルコトヲ阻止スルコトハ出來ナイト

此法規ニ依ッテ更ニ裁定シナケレバ、恩給年限ニ達シナイト云フコトニナルノデアリマス、此點ニ付テハ恩給年限ニ達シナケレバ外へ出サヌト云フ方法ヲ執ラレルノカ、或ハ恩給年限ニ達シナクテモ仕方ガナイ、下士官ニナレバソレヲ出ス、或ハ二等兵曹ノ内ニ出シテシマウ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

不利益ナ狀況ニナラヌト考ヘマス

我ニ對シマシテ、又病氣ニ對シマシテ給與

急激ナル増加ガ起ルノデアリマシテ、是等ニ對シテモ一ツ十分ニ御考究ヲ願ハヌ限リニ於テハ恩給法ヲ改正イタシマシテモ、一向ソレヲ阻止スルコトハ出來ナイト思ヒマス、陸海軍ノ方デハ大分殘ッテ居リマススケレドモ大體毎年平均シテ居ルノデアリマス、文官ダケハ急ニ殖エテ居ルノデアリマス、今後モ政變アル毎ニ巡查ニ至ルマデ更代シナケレバナラヌト云フコトデアアルナラバ當然恩給者ガ増スノデアリマスカラ、恩給額ノ殖エルコトヲ阻止スルコトハ出來ナイト

此法規ニ依ッテ更ニ裁定シナケレバ、恩給年限ニ達シナイト云フコトニナルノデアリマス、此點ニ付テハ恩給年限ニ達シナケレバ外へ出サヌト云フ方法ヲ執ラレルノカ、或ハ恩給年限ニ達シナクテモ仕方ガナイ、下士官ニナレバソレヲ出ス、或ハ二等兵曹ノ内ニ出シテシマウ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

不利益ナ狀況ニナラヌト考ヘマス

我ニ對シマシテ、又病氣ニ對シマシテ給與

急激ナル増加ガ起ルノデアリマシテ、是等ニ對シテモ一ツ十分ニ御考究ヲ願ハヌ限リニ於テハ恩給法ヲ改正イタシマシテモ、一向ソレヲ阻止スルコトハ出來ナイト思ヒマス、陸海軍ノ方デハ大分殘ッテ居リマススケレドモ大體毎年平均シテ居ルノデアリマス、文官ダケハ急ニ殖エテ居ルノデアリマス、今後モ政變アル毎ニ巡查ニ至ルマデ更代シナケレバナラヌト云フコトデアアルナラバ當然恩給者ガ増スノデアリマスカラ、恩給額ノ殖エルコトヲ阻止スルコトハ出來ナイト

此法規ニ依ッテ更ニ裁定シナケレバ、恩給年限ニ達シナイト云フコトニナルノデアリマス、此點ニ付テハ恩給年限ニ達シナケレバ外へ出サヌト云フ方法ヲ執ラレルノカ、或ハ恩給年限ニ達シナクテモ仕方ガナイ、下士官ニナレバソレヲ出ス、或ハ二等兵曹ノ内ニ出シテシマウ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

不利益ナ狀況ニナラヌト考ヘマス

我ニ對シマシテ、又病氣ニ對シマシテ給與

急激ナル増加ガ起ルノデアリマシテ、是等ニ對シテモ一ツ十分ニ御考究ヲ願ハヌ限リニ於テハ恩給法ヲ改正イタシマシテモ、一向ソレヲ阻止スルコトハ出來ナイト思ヒマス、陸海軍ノ方デハ大分殘ッテ居リマススケレドモ大體毎年平均シテ居ルノデアリマス、文官ダケハ急ニ殖エテ居ルノデアリマス、今後モ政變アル毎ニ巡查ニ至ルマデ更代シナケレバナラヌト云フコトデアアルナラバ當然恩給者ガ増スノデアリマスカラ、恩給額ノ殖エルコトヲ阻止スルコトハ出來ナイト

此法規ニ依ッテ更ニ裁定シナケレバ、恩給年限ニ達シナイト云フコトニナルノデアリマス、此點ニ付テハ恩給年限ニ達シナケレバ外へ出サヌト云フ方法ヲ執ラレルノカ、或ハ恩給年限ニ達シナクテモ仕方ガナイ、下士官ニナレバソレヲ出ス、或ハ二等兵曹ノ内ニ出シテシマウ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

不利益ナ狀況ニナラヌト考ヘマス

我ニ對シマシテ、又病氣ニ對シマシテ給與

急激ナル増加ガ起ルノデアリマシテ、是等ニ對シテモ一ツ十分ニ御考究ヲ願ハヌ限リニ於テハ恩給法ヲ改正イタシマシテモ、一向ソレヲ阻止スルコトハ出來ナイト思ヒマス、陸海軍ノ方デハ大分殘ッテ居リマススケレドモ大體毎年平均シテ居ルノデアリマス、文官ダケハ急ニ殖エテ居ルノデアリマス、今後モ政變アル毎ニ巡查ニ至ルマデ更代シナケレバナラヌト云フコトデアアルナラバ當然恩給者ガ増スノデアリマスカラ、恩給額ノ殖エルコトヲ阻止スルコトハ出來ナイト

此法規ニ依ッテ更ニ裁定シナケレバ、恩給年限ニ達シナイト云フコトニナルノデアリマス、此點ニ付テハ恩給年限ニ達シナケレバ外へ出サヌト云フ方法ヲ執ラレルノカ、或ハ恩給年限ニ達シナクテモ仕方ガナイ、下士官ニナレバソレヲ出ス、或ハ二等兵曹ノ内ニ出シテシマウ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

不利益ナ狀況ニナラヌト考ヘマス

我ニ對シマシテ、又病氣ニ對シマシテ給與

イタシテ居リマスル金額ニ付キマシテモ依然トシテ存置シテ居ル、而シテ傷病年金ト云フモノヲ拵ヘマシタノデアリマスガ、其傷病年金ニ付キマシテモ他ノ公務員ニ付キマシテハ將來サウ云フ原因ヲ生ジタ者ニダケ給與イタシマスルガ、軍人ニ付キマシテハ、過去ニサウ云フ原因ヲ生ジテ一時恩給デアル傷病賜金ヲ貰フタ者ニモ將來ニ向テ其年金ヲヤテ行クト云フヤウナコトニモ致シテ居リマス、其他隨所各部門ニ當リマシテ機會ガアレバ申上ゲタイト思ヒマシマス、色ミナ點ニ特殊ナ性質ハ現ハレテ居リマス

○男爵淺田良逸君 只今ノ御答ニ於テ至ラデ不満足ヲスル點ハ、總理大臣ノ御答ヘニナツタ事ヲ二ツニ分解シテ考ヘナケレバナラナイカラデアリマス、其一ツハ只今局長ノ述ベマシタル一般公務員ヘニ對スル恩給ヲ給スル所以デアルソレダケヲ今御述ベニナリマシタ、私ノ御尋ネシテ居ルノハソレデヤアリマセヌノデ、軍人、就中將校ハ豫備後備ニ入りマシテモ、研究會ニ演習會ニ或ハ大演習其他ノ見學等ニ出レバ、持辨當デ出テ行クシ、ソレカラ又出師準備ニ於テモ、身體ノ健康力ヲ保持スル上ニ於テモ隨分是ガ爲ニ費用ガ掛ル、デアルカラシテ之

ニ對シテ特別ニ見ナケレバナラヌノデ、斯ウ云フコトニ付テノ御尋ヲシタノニ對シ、傷病兵トカ云フヤウナ如キコト、是等ハ局長ノ常ニ御話ニナル所ノ所謂體力損耗ニ關スル保障ノ部類ニ屬スルノデ、私ノ御尋ネスルノトハ大分其意味ガ違テ居ルノデ、果シテ能ク首相ノ言ハレル軍人ニ對スル特殊性ト云フモノハ政府委員ニ認メラレテ居ルカ否ヤヲ疑問トスルノデアリマス、其實例ヲ申上ゲタナラバ、私共ガ配付ヲ受ケマシタル要項ノ中ニ試ミニ例ヲ擧ゲテ見ルコトニ致シマス、ソレハ「一、普通恩給年限ノ延長」ト云フ所ニ斯ウ云フ文字ヲ書イテアル、第二行目ニ「下士官以下ノ軍人ハ延長後ノ年數ヲ警察監獄職員ノ年數ト同一ナラシムル爲」ト、何ノ爲ニ同一ナラシメナケレバナラヌノデアルカ、同一ト云フコトハ即チ特殊ト云フコトデハナイノデアアル、即チ是ハ軍人、下士以下ノ軍人ト警察監獄職員トヲ同ジニシナケレバナラヌト云フコトデアッテ、決シテ特殊性ヲ認メルト云フコトニ私ハ考ヘル譯ニハ行カナイ、又受給者ノ年齢ヲ停止スル段ニ至リマスルト云フト「三十五歳未滿云々四十歳未滿云々ハ」ト書イテ居ルコトモ、悉ク是ハ公務員ニ適合スル所ノモノデアアルノデアリマス、然ル所、私ノ

今マデ知ッテ居ル範圍ニ於キマシテハ、陸軍ノ准士官アタリノ退職年齢ハ概ネ三十歳ヨリ三十六歳トナツテ居ルノデアッテ、大部分ハ此停止ノ中ニ入ラナケレバナラナイト云フコトニナルノデアリマス、即チ軍人ノ特殊性デアリマス、是ハ下士以下ニ對スル特殊性デアアル、他ノ文官等ニ於キマシテハ長ク御勤務モ出來ルノデアリマセウケレドモ、唯體力一天張りデ働ク下士以下トシテハ又進級ノ關係等モ考慮イタシ、彼等ハ歸ッテ家業ニ從事シナケレバナラヌト云フ點ヲ考慮イタシ、ドウシテモ是ハ退職スルノハ三十一カラ三十五ト云フ如キ若イ時ニナルノデアアル、其若イ時ニ、是ハ他ノ表ヲ見デモ明瞭デアリマシテ、明ニ此年齡ニ依ル停止ノ關係スル大部分ノ數ト云フモノハ陸海軍デアアルコトハ、御配付ヲ受ケマシタ表ニ依ッテ明デアアル、然ル所、之ヲ均等ニシテ何モ此間ニ特殊性ヲ認メテ居ラナイ、先般塚本委員デゴザイマシタカノ御話ニモ頻ニ年齡ノコトノ御話ガアッテ、軍人ノ如キ特別ノモノガアルカモ知レマセヌガ、其他ノ文官ニ付テハ六十歳云々ノ御言葉モアリマシタガ、ソレト相對照シテ見ルト、何等此軍人ノ特殊性ヲ認メテ居ラヌ所カラ鑑ミマシテ、今ノ政府委員ノ説明ノ頭ノ中ニ、私ノ

申上ゲタ首相ノ肯定シタコトガ入ッテ居ラヌノデヤナイカト思フノデアリマス、此點ニ付テ政府委員ノ御所見ヲ求メ、引續キ陸海軍ノ御所見ヲ承ハリタイノデアリマス

○政府委員(總員詮三君) 只今ノ點デゴザイマスガ、要項ノ中デ十二年ニ兩方ヲシタ、巡查、看守ナドニ於キマシテ在職年數ガ二年延ビル、ソレト同ジ程度ニシタイカラ、軍人ノ方ニ付キマシテハ一年ノ延長ダケニ止メタト云フ言葉デアリマシテ、ソレニ付キマシテ特殊性ヲ認メテ居ラヌデヤナイカト云フ御言葉デゴザイマシタガ、其一年ニ止メタト申シマスルコト既ニ特殊性ヲ考ヘテ居リマス爲ニサウナリマシタヤウナ譯デ、ソレハ直ニ金額ノ方ニモ現ハレテ參リマスガ、警察監獄職員ナドノ方ニ於キマシテハ、從來通りノ金額ガ十二年カラ貰ヘルコトニナリマスカラ、即チ基礎俸給ガ百五十分ノ五十ト云フモノガ十二年カラ貰ヘマスカラ、從來百五十分ノ五十二ノ金額ガ貰ヘタモノガ、百五十分ノ五十カラ貰ヘル、下士以下ノ軍人ニ付キマシテハ、ソレガ百五十分ノ五十一ノ金額ガ貰ヘルコトニナリマスノデ、結果ニ於キマシテ違ッテ、既ニ金額ニ付テモ違ッテ參リマス、ソレカラ今日ノ表ガ既ニ色ミナ特殊性ヲ考ヘテ居リマ

シテ、御承知ノ通りニ大尉以下ニ付キマシテハ、今日ノ恩給法ハ俸給ノ幾ラト云フ譯ニナラテ居リマセヌノデ、俸給ト云フモノハ假ニ金額ヲ算出スル便宜ノ爲ニ俸給ト云フモノヲ假ニ計算上考ヘテ居リマス譯デ、俸給ヲ基礎ニハ致シテ居リマセヌ、兵卒ナドノ部分ニ於キマシテハ、全ク俸給ヲ基礎ニハ……是ハ俸給ト云フモノハアリマセヌカラ、基礎ニモナリマセヌシ、下士以下ノ人ニ付キマシテモ巡查看守ナドニ於ケルヤウニ、實際ノ俸給ヲ基礎ニ致シテ居リマセヌ、ソレヨリズト高イモノヲ標準ニ致シマシテ金額モ盛ラテ居ル、殊ニ下士以下ノ人ニ對シマシテハ同ジ爾後ノ一年ノ進ムニ付キマシテモ、假ニ俸給ノ百五十分ノ一ツツ増シテ居ルノデハアリマセヌデ、ソレヨリモ高ク、兵卒ニ於キマシテハ定額六圓ヲ増シテ居リマス、下士ニ付キマシテハ定額七圓ヲ増シテ居ルト云フヤウナ譯デ、現行法ニ於キマシテモ亦此改正案ニ於キマシテモ、ソレ等ノ點ニ付テハサウ云フヤウナ諸般ノ特殊性ヲ其儘ニ存置シ、或ハ助長イタシテ居リマスヤウナ譯デアリマス、又將校以上ニ於キマシテモ、是ハ文官ト全然同ジデアルトシマスレバ、在職年數ヲ文官ト同ジヤウニ、十七年以上居ナケレバ恩給ヲ

ヤラナイト云フコトニ致シテモ宜シイ譯デアリマスケレドモ、サウデナイ點ヲ考慮イタシテアリマス爲ニ、今回改正イタシマシテモ十三年、一般文官ニ付テハ十七年、十七年ノ所ヘ丁度俸給ノ百五十分ノ五十ガ割當テラレル譯デアリマスガ、軍人ノ方ニ致シマシテハ、十三年ノ所デ俸給ノ、少佐以上ハ實俸給ト同ジデアリマスガ、ソレノ百五十分ノ五十ガ割當テラレル、十七年ニナリマスト更ニ四ヲ加ヘマスカラ、百五十分ノ五十四ト云フモノガ文官ヨリ遙ニ高イモノガ割當テラレテ行クト云フヤウナコトデ、現行法ニ於キマシテモ、亦改正案モ其點ニ付テハ手ヲ觸レテ居リマセヌノデ、十分ニ軍人ノ特殊性ハ保テアルト實ハ思フデ居リマス、尙ホ停止ノ點ニ付キマシテハ御叱リヲ蒙ル譯デゴザイマスガ、併シ私等ノ考ヘル所ト致シマシテハ、又此案ノ出來マシタ沿革ト致シマシテ、實ハ八分ノ一、六分ノ一ト云フノハ最低減ヲ考ヘマシタヤウナ譯デ、若シ文官ト軍人ノ間ニ特殊性ヲ設ケルト云フナラバ、文官ノ方ヲモウ少シ強ク停止スルト、文官ト申シマシテモ主モニ警察監獄職員……巡查ナドデゴザイマスガ、ソレヲ人ミノヲモウ少シ高メマスルト云フコトニナル譯デゴザイマス、實際ノ

事情ニ於キマシテハ下士以下ノ軍人ノ人ミナドガ、恩給年數ガ新恩給法ニ依リマスト軍人ノト通算サレマス爲ニ、軍人カラ直ニ巡查ナドノナラテ參リマシテ勤務シテ居ル人ガ今日非常ニ多イノデアリマス、舊恩給法時代ニ於キマシテハサウ云フコトヲヤリマシテモ、年數通算ヲサレマセヌノデリリマスカラ、サウ云フ人モ比較的少ナカタノデアリマス、今日ニ於キマシテハ非常ニ多イノデアリマス、其間ニ隨分是モ御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、巡查ガ、軍人出身ノ巡查ナドノ方カラ言ヘバ、巡查ナドノ方ヲ今度ノ改正案デヒドクスルト云フノハ無理デヤナイカ、實情ヲ知ラヌデヤナイカト云フヤウナコトヲ澤山ニ言フテ參リマスノモアリマスケレドモ、今ノ特殊性ト云フヤウナコトヲ考ヘテ斯ウ云フ風ニシタ次第デゴザイマス

○説明員(中井良太郎君) 陸軍ノ立場カラ見マシタ恩給法改正ニ付キマシテ、特殊性ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、本改正案ニ於キマシテハ制度ノ上デ今日マデ認メラレマシタ軍部ノ間ニ於ケル差等トデモ申シマスルカ、其點ヲ積極的ニ著シク特殊性ヲ認メタト云フモノモゴザイマセヌガ、サリトモ積極的ニ之ヲ侵害セラレルト云フヤウナコトモ認メラレマセヌ、イヅレカト申シマスレバ現在ノ軍部ノ差等ヲ大體其儘ノ開キヲ以テ下ゲルモノハ下ゲ、合理化スルモノハ合理化シタ、斯ウ大體ニ於テ私共ハ承知イタシテ居ルノデアリマス、普通恩給年限ノ延長ト申シ、又基礎俸給ノ變更ト申シ、或ハ低位傷病恩給等ノ制度ト申シ、我ハ特殊扶助料ノ増額、我ハ一時恩給ノ基礎年限ノ延長、此一時恩給ノ基礎年限ノ延長ノ如キモ、文官ハ三年ニイキナリ延バセルノデアリマスガ、任官ノ日カラ三年ト云フコトニナリマスガ、軍人デアリマスト一時恩給ハ下士官トシテ一年在職スレバ宜イト云フ現在ノ制度其儘デアリマシテ、結局兵ノ時カラ通算イタシマシテ三年デゴザイマシテ、チヨット現行法ト變リガナイ、ココロモ特殊性ヲ十分ニ認メラレテ居リマス、唯御示シノ若クシテ恩給ヲ受ケル者ノ停止ノ一件ニ付キマシテハ、私共ト致シマシテモ當初ハ只今ノ御意見ト同ジヤウナ考ヲ以テマシテ、此點ニ付キマシテハ非常ニ慎重ニ考慮イタシタノデアリマス、元々若クシテ恩給ヲ貰フテ居ル者ニ對シマスル世間ノ非難ト云フコトニ付キマシテハ當ルカ、當ラヌカモ論ズル必要モゴザイマセヌガ、一應其聲トシテ聽カネバナリマセヌ、縦ンバ當ラタト

致シマシテモ陸軍ノ現状カラ申シマシテ、之ニ耳ヲ假ス餘地ガ無イ場合モアラウカト存ジマス、此點ニ付キマシテハ先程モ申シマシタヤウニ、一番私ハ恩給法ノ改正ノ中デ考慮イタシタ點デゴザイマスルガ、色ミ研究イタシテ見マスルト云フト、今回ノ改正ニ於キマシテ唯増加スベキ財源ヲ貰ヒマシテ、傷病年金トカ、或ハ特殊扶助料ノ増額トカ云フコトデゴザイマシタナラバ宜シウゴザイマスガ、ソレガ出來マセヌ爲ニ何ントカソコヲ合理化シテ、サウシテ恩給ノ豫算内ヨリ一部ノ金額ヲ捻出シテ重要ナル傷病年金、或ハ特殊扶助料ノ増加、斯ウ云フ方面ニ振向ケルヤウナコトニナリマシタノデ、其中デ何ヲ削ルカト申シマス、議論ヲ申シマシタナラバ、若クシテ恩給ヲ受取ルト云フコトハ餘リ世間體モ宜イコトデアリマセヌカラ、主義トシテソレ等ヲ多少削ラレマスト云フコトモ、是モ他ノ重要ナル問題ガアルナラバ是非ニ及バヌ、併シ停止ト云フコトニナルト殆ド判任文官ハ掛ラナイ、此打撃ヲ受ケルノハ陸海軍ノ准士官以下ト警察官、監獄職員或ハ植民地ニ勤務ノ文官デ、他ノ内地ノ文官ハ殆ド是ハ適用ヲ受ケルモノデナイ、ソコニ私共ガ決シテ氣付カヌ譯デハゴザイマセヌ、然ラバ此停止

率ヲ文官ニ付キマシテハ五分ノ一デアルトカ、四分ノ一ト云フコトニシタ所デソレハ空文デアリマス、實行性ガゴザイマセヌ、勢イ文官ニ付キマシテハ四十歳ヲ越エテ尙ホ停止ヲ持續スル所ノ案ニナラヌケレバйкаスト考ヘテ居ルノデゴザイマスルガ、御五ニ實際ノ生活狀況ヲ見マスと云フト、一年歳ヲ取ルニ從ヒマシテ、子供ガ大キナリ、家庭ノ費用モ要ルト云フコトニナリマシテ、殊ニ就職ノ難易カラ申シマス、爾餘ノ人ハ割合ニ就職ハ出來マスルガ、四十歳トナリマスと上級ノ上長官ナリ或ハ其他ノ政務官の官吏ナラバ別デゴザイマスケレドモ、事務官トシテハ、他ノ下級事務官トシテハナカク就職ガ出來兼ネマヌヤウニ私共モ考ヘマス、今日下士官及准士官ニ付キマシテハ私共ハ極力是ノ就職ヲサセマシテ、又極力歸農サセマシテ、農村ニ落着ケ、農村共同ノ良風美俗ヲ助長スル爲ニ是等ヲ利用スルト云フヤウナコトニ付キマシテ、極力努力ハ致シテ居ルノデゴザイマス、下士官デアリマスレバ或ハ會社ノ事務員等ニ採用サレルト云フコトニ付キマシテモ、可ナリ民間ニ於キマシテハ信用シテ呉レマシテ、サウシテ比較的優先ヲ以テ採用シテ下サルヤウナ向キモ少ナクゴザイマセ

ヌ、今後益、此就職ノ方ニ力ヲ入レルニ於テハ多少ノ恩給減額モ忍ビ得ラレル、最大限ト申シマスルカ、極メテ僅少ナル忍ビ得ラレル程度ナラバ寧ロソレヲ減ラシテモ傷病兵トカ、或ハ戦死者ト云フモノノ遺族ヲ宜クスルガ合理的デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘ及ビマシテ遂ニ本案ニ同意ヲ致シマシタ次第デゴザイマス

○説明員(多田武雄君)

海軍ト致シマシテモ、恩給法上ノ軍人ノ特殊性ト云フコトニ付キマシテハ、陸軍ト全然同一意見ヲ持テ居リマス、是ハ軍部ト致シマシテ、勿論陸海軍トモ軍人ノ特殊性ニ付テ違フ意見ヲ持テ居ル譯デモアリマセヌ、且又只今陸軍ノ恩賞課長カラ詳シク此點ニ付キマシテ御述べニナリマシタカラ重ネテ申スコトヲ避ケタイト思ヒマスガ、蛇足カモ知レマセヌガ、若クシテ恩給ヲ支給サレル者ノ一部停止ト云フ問題ニ付キマシテ、斯ウ云フコトモ考ヘ得ルノデヤナイカト思フノデアリマス、ソレハ成程此二十五歳、三十歳代デ恩給ヲ給セラレテ居リマス者ハ陸軍軍人、海軍軍人、而モ其下級者デアルカラ今度ノ改正法ノ適用ヲ受ケル者ガ、此陸海軍ノ下級軍人ガ大部分デアルト云フコトハ誠ニ軍部トシテハ一應ハ遺憾ニ思フ次第デ、アリマ

ス、即チ國ノ必要カラ若イ者ヲ強制徴収イタシマシテ、或ル期間所謂不具ナ教育ヲ施シテ或ル年限ニ達シマスと云フト、定員ノ關係上已ムヲ得ズ強制淘汰シナケレバナラヌ、サウシテ若クテ退職スル者ガ多數ニ出來マス、國ノ必要カラ若イ者ヲ持ッテ來テ、サウシテ又國ノ必要カラ已ムヲ得ズ強制淘汰ヲシテ、オ前ハ若イカラ恩給ヲ減ラスゾト云フコトデハ、誠ニ軍ノ士氣ニ影響スルノデハナイカト云フ考ヘ方モ一面確ニ其通リデアラウト思ヒマス、併ナガラ又一方カラ考ヘマスルト云フト、恩給ヲ受ケマス者自身ノ方ノ側カラ考ヘマス、海軍ニ御奉公イタシマシテ、サウシテ若クシテ退職シタ場合ニ於テモ、國家ハ之ニ對シテ恩給ヲ支給サレテ居リマス、自分ハ斯ンナニ若クテモ恩給ヲ頂戴シテ居ルノデアルト云フ所ガ、即チ國ガ其軍人ノ特殊性ヲ認メテ居ル所以デアリマシテ、或ル年齢ニ達シマスルマデ其恩給ヲ一部停止スルノダト云フ事柄トハ、別個ニ考ヘ得ル問題デヤナイカト思ッテ居リマス、蛇足デアルカモ知レマセヌガ、恩賞課長ノ御説明ニ附加ヘテ海軍ノ御説明ト致シタイト思ヒマス

○委員長(伯爵濱口直亮君)

只今ハ是デ休憩イタシマシテ、午後一時半カラ再開イタ

シマス

午前十一時五十一分休憩

午後一時四十六分開會

○副委員長(男爵井上清純君) 午前ニ引續キマシテ開會イタシマス、御質問ノアル御方ハドウカ御願ヒ致シマス

○男爵淺田眞逸君 先程ノ政府委員ノ御説明ニ對シテ尙ホ質問ヲ續ケタイト思ヒマス、政府委員ハ、矢張り軍人ニ對スル恩給ノ特殊性ヲ認メルコトノ確言ヲ得マシタノデアリマスケレドモ、其認識ガ、未ダ總理大臣ガ肯定シタヤウナ頭ニビツタリト合ッテ居ラスノデアリマス、ソレハ是等ノ書類ヲモウ隅カラ隅マデ頭ニ入レテ御イデニナルカラ、此書類ニ當ッテ御答ヘニナラナカッタノデアリマセウケレドモ、明瞭ニ私ノ指摘イタシマシタ普通恩給ノ年限延長ト云フ所ノ二行目ニ警察監獄職員ノ年數ト同ジニスル爲ニト、斯ウ云フ爲ニト云フ趣旨ヲ明ニシテ居ルノデアッテ、同一ナラシムル爲ニト云フノデアルカラ、ドウシテモ同一ニスルト云フ頭ガソコニ私ハ潜在スルト云フコトヲ感ズルノデアリマス、ソレカラ其次ニ特殊性トシテノ色ニ簡條ヲ御擧ゲニナリマシタカラ、ソレハ陸海軍トモ總括的ニ申述ベテ見タ

イト思フノデアリマス、成程准士官以上ニ於キマシテハ十三年ト云フコトニナッテ居リ、文官其他ハ十七年ト云フコトニナッテ居リマスルカラシテ、四箇年ノ開キノアルコトハ勿論デアリ、又過程法規ヲ定メタト云フヤウナ御説明モ私ハ概略ソレハ存ジテ居ルノデアリマス、ソコデ結局開キハドノ位ニナルノカト云フト、早ク恩給ヲ貰フト云フダケガ違ッテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ今ニ及ンデ抑、日本ニ於ケル恩給制度ガ當時ハドウデアッタカ、諸外國ガドウデアッタカト云フコトハ、是ハ餘リ有力ナ根據ニナラヌカモ知レマセヌケレドモ、只今チヨット政府委員ノ御手許ニアリマス資料ヲ拜見シタノデ、私ノ今マデ存ジテ居リマス所トノ間ニ差ガアルバカリデナク、唯アッサリト其表ヲ見タダケデハ分リマセヌニ依ッテ、先ヅ以テ次回マデニ諸外國ニ於ケル此軍人ト文官トヲ比較シタ所ヲ一覽ノ表ニ致シマシテ、明確ニ頭ニ映ルヤウニ御配付ヲ願ッたら大變宜シイト思フノデアリマス、ソレハソレト致シ、兎モ角四年ノ開キガアルト云フノデ最初ノ最高限ニ於テ五十「プロセント」デアルト云フコトモ、爾後一年ヲ増ス毎ニ百五十分ノ一殖エルト云フコトモ何等差ガ無イノデアルカラ、結局其

差タル百五十分ノ一ノ四倍ニ該當スルノミデアリマス、依テ之ヲ具體的ニ少尉ニ付テ見テ見マスツト云フト、少尉ヲ十五年勤務イタシマシタ者ハ概ネ五百圓餘リトナッテ居リマス、ソレヲ百五十分ノ一トシタ時ニ三圓幾ラニナッテ、ソレニ四倍掛ケルト一年十三圓バカリノ差ニナリマス、中尉ニナリマスツト云フト、是ハ假ニ二十年ト致シマシテ計算ヲスルト云フト、六百七十圓ニ對スル百五十分ノ四ヲ掛ケタモノ、即チ是ハ十七八圓ニナリマシタデセウカ、一年ニソレダケノ差ガアルト云フコトニナルノデアリマス、而モ此中少尉ハ其職ヲ去ッテカラ如何ナルコトヲ平素シテ居ルカト云フコトヲ御考ヘニナッテナラバ、是ハ明ニ能ク御理解ガ行クノデアリマス、殆ド此頃軍隊ノ凱旋出征等ノ場合、ソレカラ 陛下ガ出御ニナリマス場合ノ在郷軍人ノ勤務、犧牲の勤務、色ミナ方面、ソレカラ殊ニ研究ノ爲ニ如何ニ彼等ハ時日ヲ費スカ、又勞力ヲ費シテ居ルカト云フガ如キコトヲ能ク中少尉時代ニ於ケル彼等ノ豫後備軍人デアルガ故ニ、當然之ヲヤッテ置カナケレバ、召集ノ際ニ困ル、戰時ニ龐大ナル國軍ヲ作ル時ニ是ガ幹部トナル爲ニ要スル精神力、物質力等ノ準備ヲ能ク考察ヲ致シマシテ、而シテ此金額ト比較シ

テ見ナケレバナラヌノデ、單ニ何錢、何圓多イカラ、ソレガ特殊性ト云フノデハナク、特殊性タル以上ハ其目的ニ該當スル所ノ金額ヲ配當シナケレバ是ガ立論ガ成立タヌモノト私ハ思フノデアリマス、デゴザイマスカラシテ、此十三年云々ニ付テモ承服ハ出來ナイ、此點ニ付テ如何ニ御考ヘニナッテ居ルカヲ伺ヒタイノデアリマス、次ニ、大體ニ於テ私ハ此政府カラ頂戴ヲシタ要項ト云フノニ付テ申シテ居ルノデアリマス、基準俸給ノ變更ト云フ所ニ於キマシテ、其「イ」ノ部分ニ付テデアリマス、デハハ恐ラク准士官ノ場合ニ當嵌メテドウナルカラ考ヘテ貰ヒタイノデアリマス、法律案ノ中ニモ是ハ書イテ居ルノデゴザイマスガ、准士官ガ二年シナケレバ高等官八等ノ恩給ヲ貰ヘナイノデアリマスガ、現行ニ依リマシテハ左様ナコトハ無イノデアリマス、二年ト云フコトハ規定シテアリマセヌ、是ガ矢張り一ツ特別ニ御心配下ッタト見ラレナイ一箇條デアリマス、ソレカラ頻ニ傷病年金ノコトヲ申サレマシタ、是ハ新タナル御制定デアリマシテ、至極結構ナコトト存ジマスガ、之ヲ以テ政府委員ハ軍人ノ特殊性云々ト申サレマスガ、決シテ軍人バカリデナイコトハ法文ノ中ニ明ニ示シテ居ルノデゴザイマス、軍人モ亦

斯ウデアリ、外ノ者モ亦同様デアルト云フ
ノニ過ギナイノデアリマス、次ニ御話ニナ
リマシタ特殊扶助料ノ増額ノ件デアリマ
ス、是亦公務勤務死亡者及増加恩給者ノ扶
助料ト云フコトニナッテ居リマシテ、千篇一
律デアリマス、勿論私ハ其外ノ方ニ宜ク
スルコトヲ決シテ妬ミモシナケレバ、又ソ
レガ惡イト云フノデハナイ、益、サウデナ
ケレバナラヌト感ズルモノデゴザイマス
ガ、斯ノ如キ場合ニ於キマシテモ戦死者デ
アルガ故ニ、戦死者ノ遺族デアアルガ故ニト
云フ格段ナル差異ヲ御認メニナルコトナ
ク、等シク公務勤務死亡者ヲ五箇年、各扶
助料ノ而モ十分ノ三ト云フ極ク僅ナモノヲ
付與スルニ過ギナイノハ、是ハ甚ダ遺憾ト
スルノデアリマス、主人ハ戦場ニ身ヲ捧
ゲル、或ハ其方ハ違ヒマス、死ンデカラ後
ノコトデ、只今ノハ是ハ戦死ノ場合ハ違ヒ
マスガ、負傷シテ死亡シタ場合、其場合ニ於
テハ俄然減リマシテ誠ニドウモ困難ヲ感ズ
ル、由來我國ニ於キマシテハ、健康デ以テ
兵役ニ服シ得ル人間ノ大部分ト云フモノハ
下層階級ノ者デアッテ、其中ノ半バハ農民ガ
之ヲ占メテ居ルノデアリマス、サウスレバ
日モ亦足ラズ、働クモ生計ニ困難ヲ感ジテ
居ル、サウシテ無論家ハ左様ナ貧乏デア
ル、

ソレガ今度ハ主人ガ死ンダト云フ場合ニ於
テ俄然生活ニ窮スル、是ハ見易イノデア
ル、是ガ思ヒ付キニナッタコトハ誠ニ結構デ
アルケレドモ、何故モウ少シ之ニ踏込ンデ、
モット此意義ヲ徹底セシメナイデアラウカ、
凡ソ生活ニハ限度ガアリマスシ、今日ノ物
價等ヲ對照イタシマシテ、僅カ五箇年間ニ
十分ノ三ダケヲ與ヘタト云フコトニナリマ
スト、是亦私ハ決シテ十分ニソレ等ノ點ヲ
考慮シタト云フ風ニハ考ヘラレナイノデア
リマス、次ハ、受給者ノ年齢ニ依ル停止、
此事ハ政府委員ト陸軍當局トノ間ニ若干ノ
意見ノ懸隔ガアルヤウニ私ハ感ズルノデア
リマス、年齢表ヲ出ス迄モナク、此關係ス
ル大部分ト云フ者ハ陸海軍ノ軍人デゴザイ
マス、之ニ對シテ左様ニ健康ナラ、陸海軍
ノ軍人デアアルカラテ、働ケバ宜イデハナ
イカト申スケレドモ、ナカノ一軍隊ニ於キ
マシテ、只今ナラバ別デスケレドモ、アノ
我々好況時代ニ如何ニ下士ヲ軍隊ニ留メル
コトニ苦心シタデアリマセウカ、ナンボ勸
メテモ下士ニハナリマセヌ、併シハ必要
ナ一ツノ階級デアリマス、ソコデ恩給ト云
フコトハ下士ヲシテ長ク服セシメル爲メ大
切ナモノデアアルノデゴザイマス、即チ、彼
等ハ家ハ貧乏デア
ル、軍隊デ勤メテ外ニ出

テ恩給ト合シテ生活シテ行カウト云フ輩デ
アリマス、ソレヲ唯若イカラシテ、若クテ
出タノデアアルカラ云々ト云フコトデハ、ド
ウモ是ハ下層民ニ對スル所ノ、殊ニ軍隊ノ
壯丁ノ大部分ニ含マレテ居リマス農民ノ實
情ニ付テ、如何ニ考慮ヲ拂ハレテ居ルカラ
疑ハザルヲ得ナクナルノデアリマス、デゴ
ザイマスシ、陸軍當局ノ話ニモ、最も必要
ダ、其他ノ場合ニモ同様デアリマス、必要
デアアルガ、是モ必要ダ、アレモ必要ダ、併
シ必要ナ程度ガ違フカラ、必要ノ度ノ高イ
モノカラ逐次整理シテ行クンダト云フ話
デ、是ハ私ハ此機會ニ於テ申上ゲマスガ、
事ハ全局ニ關スルコトデアリマス、豫算ガ
決テ居ル、其豫算デ賄ハネバナリマセヌ、
サウスルト云フト其内ニ順繰リニ重イ方カ
ラヤッテ行クンダ、斯ウ云フコトノヤウニ
私ニハ聞エマシタ、是ハ誠ニドウモ、此恩
給法ニ付テハ片寄ッタコトニナル、無論豫算
ヲ考慮シナイ所ノ恩給法ト云フモノハアリ
得ナイデゴザイマセウケレドモ、サウデナク、
斯ノ如キモノニハ斯ノ如キ程度ニ於テ恩給
ヲヤラネバナラヌト云フコトヲ、十分ニ査査
考慮ヲ致スノガ必要デアアルガ故ニ豫算ニ縛
ラレテ是ハ必要デアアルケレドモシナカ
タ、ヤリタイケレドモヤレナカッタト云フコト

デハ恩給ノ精神ニ私ハ背反スルモノデア
ウト考ヘラレルノデアリマス、此意味ニ
於キマシテ、ドウシテモ此三十五歳四十歳
云々ト云フコトハ私ハ重ネテ申シマス、軍
人ノ特殊性ヲ無視シタモノデアッテ首相ノ
確言ニ是ハ一致シナイモノト主張スルノデ
ゴザイマス、ソレカラ其次ニ恩給融通ノコ
トガ書イデアリマス、是ハ多年ノ懸案デゴ
ザイマシテ、遺憾ナガラ恩給證書ノ大部分
ハ高利貸ノ手ニ移ッテ居ッテドウカト云フガ
如キコトハ、私共ヨリモ詳シク政府ノ方ガ
知ラレテ居リマシテ、説明モ伺ッタコトガ
アルノデ、茲ニ鑑ミル所アリ、幾多ノ陳情
モ出デ居リマスルノミナラズ諸願モアリマ
スルカラ、恩給ノ金融ノ途ヲ開カシムルコ
トニ付テ考慮スルト云フコトニナッテ居リ
マスガ、是ハ頗ル重大ナコトデ何ボ避ケヤ
ウトシテモ避ケ難イ、今日マデ事實ハ之ヲ
證明シテ居ルノデアリマスルカラシテ、何ト
カシテ是ハ解決ノ途ヲ恩給法ニ於テ開イテ
貰フコトガ出來ナイモノデアラウカ、此研
究ヲ進メマスニ付キマシテ、色々考慮スベ
キ點ガ多イノデアリマス、其一ツヲ舉ゲテ
見マスト云フト、恐ラク死ンデモ恩給證書
ハ其儘デ遺ッテ居ル、デ是ガ轉々イタシテ居
ル、ナカノ一ノ分リニクイ、サウスルト云フ

ト、幽靈ノ人間ニ金ガ渡テ居ルト云フコトモゴザイマセウシ、又ソレガナケレバ宜シイノデゴザイマスガ、兎ニ角此恩給法ヲ改メマスニ於テハ、永年ノ懸案デゴザイマシタ所ノ恩給ニ對シテハ、是ハドウセ郵便局デ支拂ヲ致スモノデアルシ、何トカ低利資金トカ何トカ云フガ如キモノヲ、若シモ法令ニ於テ現ハスコトガ出來テ、規則ニ於テ救フコトガ出來タナラバ仕合セデアルガソレガナカッタ、ケレドモ私ハ法令等ニ付テハ全然素人デアリマスノデ、サウ云フコトハ不可能デアルノカモ存ジマセヌガ、希望ト致シマシテハ兎ニ角重大ナコトデアルガ、特ニ考慮セラレテ居ナイノヲ遺憾トスルノデゴザイマス

○副委員長(男爵井上清純君) ソレデ淺田君ハ御終ヒデゴザイマスカ
○男爵淺田良逸君 モウ少シアリマス、續ケテ宜シウゴザイマスカ、モウ二三アリマス
○副委員長(男爵井上清純君) 暫ク一ツ本會議ノ定足數ガ缺ケテ居ルサウデアリマスカラ三十分バカリ休憩シマシテ本會議ノ方ヘ御出マシヲ願ヒタイ、丁度三十分バカリ掛ルヤウデアリマスカラ、本日ノ日程ガ終テカラコチラニ御出デヲ願ヒマス……

如何デゴザイマセウカ、御相談ヲ致シマスガ、本日ハ本會議ノ都合ニ依リマシテ、此程度ニ於テ散會ヲシタラ如何カト考ヘマス
〔贊成〕又「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副委員長(男爵井上清純君) ソレデハ本日ハ是デ散會イタシマス

○森平兵衛君 私一日缺席シタノデアリマスガ、明日ハ國務大臣ニ御出席ヲ要求シタイト思ヒマス、明日ハ御ヤリニナリマスカ
○副委員長(男爵井上清純君) 明日ハ午前十時カラ開會イタシマス
○森平兵衛君 ソレデハ國務大臣ノ御出席ヲ一ツ要求イタシテ置キマス

午後二時五分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵溝口 直亮君
副委員長 男爵井上 清純君
委員

公爵一條 實孝君
子爵大河内輝耕君
子爵伊東二郎丸君
子爵東園 基光君
佐藤 三吉君
眞野 文二君
織田 萬君
塚本 清治君

政府委員

内閣書記官長 堀切善次郎君
内閣恩給局長 樋貝 詮三君

説明員

陸軍歩兵大佐 中井良太郎君
海軍中佐 多田 武雄君

男爵淺田 良逸君
男爵渡邊 修二君
今井 五介君
森 平兵衛君